

仙北市では、角館総合病院と田沢湖病院の2つの公立病院を運営しています。
しかし近年は人口減少や患者数の減少、医療従事者不足などにより、病院経営は大変厳しい状況となっています。



1 現状 ～厳しさを増す病院経営～

主な課題

人口減少	・約27,800人（H27） ↓ ・約22,600人（R7） 10年間で約5,000人減少
患者数の減少	・両病院とも減少傾向 ・コロナ禍以降も回復せず
診療収入の減少	医療収益は減少が続き、経営を圧迫
人件費・施設維持費の増加	物価上昇や人材確保の影響で増加が続く

赤字の状況（令和7年度）

田沢湖病院	角館病院
医療損失 （診療収支の赤字） 約3.9億円	医療損失 （診療収支の赤字） 約9.2億円

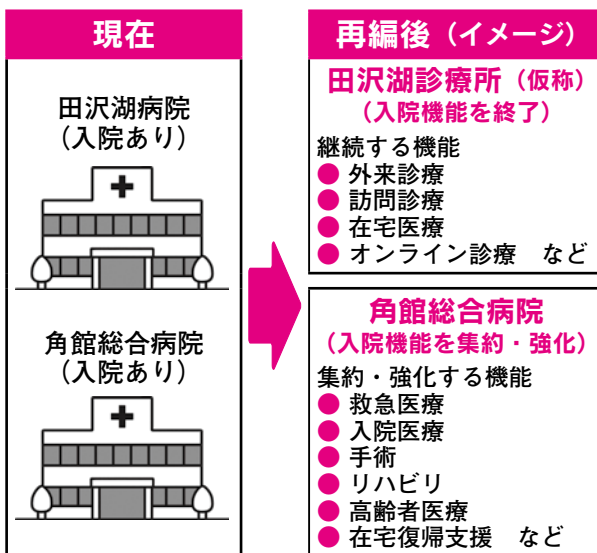
累積欠損金（これまでの赤字の積み残し）

田沢湖病院	角館病院
18.7億円	67.5億円

一般会計から毎年
約20億円の財政支援が必要

公認会計士による外部監査では、「現在の2病院体制のままでは持続が難しい」との指摘がされています。

2 改善案の内容～病院機能の再編～



※医療機関や周辺の介護施設、かかりつけ医との連携をさらに強化し、切れ目のない医療・介護を提供します。

3 医療アクセスの確保

再編による不便を軽減するため、以下の取組を検討しています。

連絡バスの運行



両病院・診療所を結ぶ連絡バスを運行し、通院の利便性を確保

オンライン診療の導入



自宅や公民館・介護施設などからオンラインで受診できる環境を整備

移動診療サービス（医療 MaaS）



高齢者や交通弱者の方に向けた移動診療サービスの導入を検討

※医療機関や周辺の介護施設、かかりつけ医との連携をさらに強化し、切れ目のない医療・介護を提供します。

4 今後に向けて



今回の計画は病院をなくすことが目的ではありません。限られた医療資源を有効活用しながら、将来にわたり地域医療を守るための取り組みです。

一方で、田沢湖地域の医療アクセスや住民の安心感をどのように確保するかが大きな課題であり、今後も市民の皆さまの声を伺いながら検討を進めていく必要があります。

病院の未来へ 議員からのひとこと

病院事業健全化計画については、議会でも様々な意見が出されています。
各議員の考え方を紹介します。

平岡 議員

国が診療報酬を上げるなどの支援をもつとするべき



溝口 議員

現病院事業健全化計画とは別の抜本的な健全化計画の策定が必須



西宮 議員

市内医療機関と共に市民を守る医療連携の推進に期待したい



小田島 議員

両病院ともに市民が足を運ぶ、愛される病院になって欲しい



中村 議員

経営を安定させ市民の不安を払拭し、信頼される病院を目指してほしい



澤田 議員

大事なものは健康と安全がしっかり守られる病院であって、病院機能の見直しを近隣病院と連携していくこと



門脇 議員

医療拠点を維持しつつ、体制の改革が必要。身の丈に合った病院とする



高橋 議員

新生「せんぼく市民病院」が健全化基準を維持し地域医療を担うこと



熊谷 議員

病院職員及び市民全体の意識改革と信頼回復への大英断が必要である



田口 議員

仙北市の生き残りを賭けた大改革。角館総合病院をいかに大改革できるかがポイントになる



黒沢 議員

人口減少の中で現状の2つの病院の運営は厳しいと思う



青柳 議員

早期に経営健全化を策定に努力するべきと思う



真崎 議員

患者との信頼関係を構築し、だれからも愛される病院でなければならないと考える



高久 議員

病院は生命と健康を守る砦として大切。市民の英知を集め共に努力する



武藤 議員

経営改善を確実に進め、市民から信頼される地域医療を形成してもらいたい



コメントから見える共通点

- さらなる経営健全化計画と改革の必要性
- 地域医療の維持
- 市民から信頼される病院
- 医療連携の推進

などの意見が多く見られました。

病院問題は市民生活に直結する重要課題です。
今後も議会で議論を続け、情報発信を行います。

